



2025年6月23日

第24号

発行：進路係

明日は学年PTAです。保護佐の皆様には、27日の進路学活で生徒が学ぶ際に使う資料を配付します。オープンスクールの案内が届いておりますので、お知らせいたします。各自でお申し込み下さい。



札幌龍谷学園高等学校 学校説明会案内

日時等	第1回オープンハイスクール 第2回オープンハイスクール 第3回オープンハイスクール 令和7年 7月26日(土) 令和7年 9月13日(土) 令和7年10月18日(土) 内容：全体説明(コース説明、制服説明、部活動紹介)、授業体験、部活動体験、SRGきっぷ説明会、入試個別相談他 (11月15日入試ガイダンス、入試個別相談会あり) *すべてのイベントでJR桑園駅から送迎バスあり。上靴・靴袋・筆記用具持参
会場	札幌龍谷学園高等学校(中央区北4条西19丁目1-2) https://sapporo-ryukoku.ac.jp/about 申し込み https://sapporo-ryukoku.ac.jp/exam/visit または 配布のチラシQRコードより
備考	スーパー特進コース(難関国公立大私大を目指す、7時間授業、夏期集中勉強会あり)、特進コース(国公立大私大を目指す、7時間授業、夏期集中勉強会あり)、プログレス進学コース(総合型入試に対応、部活動や課外活動と大学進学の両立を目指す、英検2級取得を目指す)、未来創造コース(総合進学クラス・生活福祉クラス・情報オフィスクラスに分かれる、中国語の授業、介護職員初級者研修、情報処理検定などの資格を西野学園や北海道情報専門学校と連携し取得可能)の4コース。オーストラリアにホームステイ、ハワイPBA短期留学プログラムあり。強化指定部は野球、男女卓球、女子バスケット、サッカー、男子バドミントン、女子ソフトテニス、部活動も盛ん。特待生制度(スーパー特進特待・特進特待・プログレス進学特待・未来創造特待・スポーツ特待・弟妹特待・同窓生特待)あり
SRGきっぷ *成績や出席日数に不安があるが、札幌龍谷高校入学を希望している受験者のための制度	・エントリーには、“札幌龍谷高に強い入学意思があり、オープンスクール(①7/26②9/13③10/18)での「SRGきっぷ保護者説明会」に保護者の方が参加すること”等が条件。申し込みは「SRGきっぷ保護者説明会」参加後に、ホームページから申し込む。連絡が届いたら、A日程の場合、第1回面談(面談：保護者同伴による個人面談、受験方法概要説明、意志確認等)、第2回面談(プレゼンテーション：入学後の高校生活について、使うツールは自由)、第3回面談(面談：保護者同伴も可、個人面談。プレゼンをふまえての意志確認)を行う。きっぷがもらえたら単願試験当日の面接試験は免除。 ・申込：A日程(7月28日～9月10日)B日程(9月16日～10月22日)ただし応募者多数の場合申し込み期間終了前に締め切る場合があり、近年応募が多いため注意が必要。入学したら龍谷高校で学習や生活を充実させていける見通しだが、例えば1、2年生で欠席が多かった等のため内申点(学習点)や当日の入学試験の学力点に不安が残る等の場合に、この「SRGきっぷ制度」は使えるそうです。詳しくはホームページまたは、オープンハイスクールなどで個別相談または、担任を通して学校に相談して下さい。

釧路高専オープンキャンパスのお知らせ <https://www.kushiro-ct.ac.jp/for-admissions/>

7月19日20日と10月4日オープンキャンパス 10月18日19日高専祭あります。詳しくはホームページで。

*オンラインなどの進学相談は随時、9月6日は札幌で道内4高専合同学校説明会(校内にポスター掲示してあります)

「第74回南高祭～南じゃもんじゃ～想像の枝を伸ばせ！！～」ポスター掲示しました

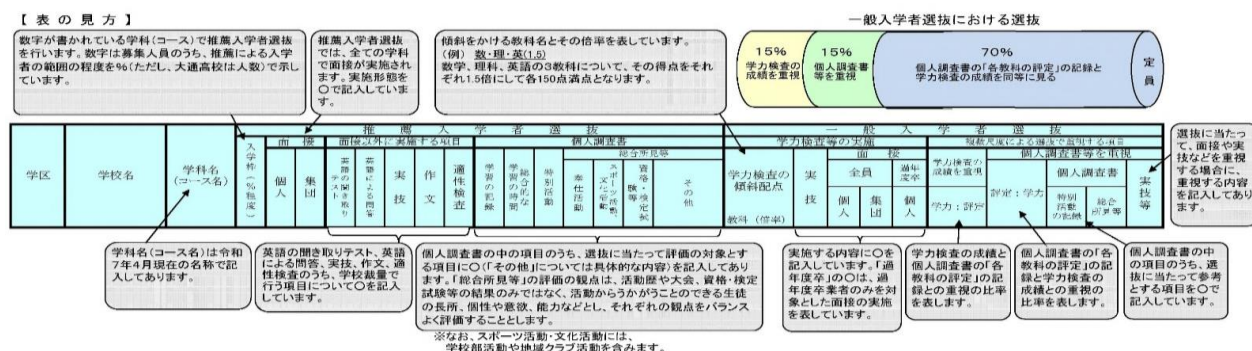
・7月5日(土) 10:00~15:30 6日(日) 9:30~14:00 上靴、靴袋持参。

*本校卒業生がポスターを持参しました。「南高は個性豊かな人が多く、知的刺激に満ちています。目指している受験生頑張ってください。」とおっしゃっていました。

札幌山の手高校が令和7年4月昼間定時制スタートと連絡ありました

普通科、修業は４年（３修制可能）３学期制、授業は１２：３５～と夜間ではない授業時間という特色はありますが、かかる費用は、昨年度“受験料 16,000 円、入学金 150,000 円～、納入金は毎月 39,800 円（ただし授業料 27,000 円分は変更の予定）”と公立の定時制に比べると高額です。詳しくは <https://www.yamanote.ed.jp/evening/>

2026年度公立高入試学校裁量の概要について（その3）



進路だよりでもこの見方について説明していきます。

一般入試の 30% 枠についてです。各校ともまず入学定員の 70% を学力点と内申点を同等に評価します（学力点：内申点＝5：5 の意味です）。

残り 30%枠を 15%ずつ学力点重視と内申重視に分けて選抜します。重視の比率は各学校の裁量によります。

例えば、札幌南高の場合、30%枠の重視の比率で「学力点重視の欄に10:0」となっています。これは学力点のみで評価するということを表しています。札幌東高の場合は、この「学力点重視の欄が8:2」となっているので、学力点：内申点＝8:2で評価するということを意味しています。定員の15%はこのような選抜になります。

さらに、札幌東高の場合「内申点重視の欄が6：4」となっています。これは内申点：学力点＝6：4で評価するということを意味しています。恵庭南体育科の場合は、この「内申点重視の欄が10：0」とあるので、内申点のみで評価するということを意味しています。定員の15%はこのような選抜になります。複数尺度による選抜といいますが、高校側が選抜するときにその学校で決めた方法によって、選抜方法を使い分けています。ですから、選抜方法を受検者が選ぶことはできません。詳しい表は、教育委員会の該当サイトから見ることができます。また、進路コーナーの掲示板にも新聞発表を掲示しておくので参考にして下さい。

保護者の皆様も含め、何か質問等ありましたら、担任先生を通して中学校にお問い合わせください。またお子さんは、27日に学活で学習するので、その時にお子さんを通してお尋ねすることもできます。その場合、お子さんに聞きたいことを自分の言葉で伝えられるように、アドバイスしていただければ幸いです。よろしくお願いします。